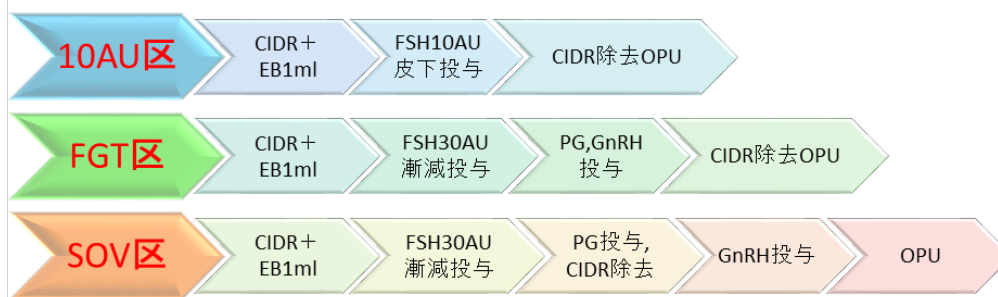


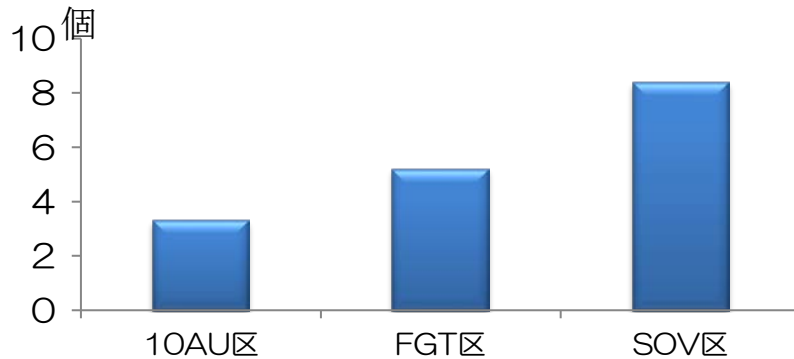
生体内卵子吸引（OPU）前にFSHを30AU投与することで胚盤胞数が増加する

生体内卵子吸引（OPU）技術を利用した優良後継牛の増産を農場で実用化するための実証研究を行う。FSH10AU皮下投与（10AU区）で胚盤胞が3.3個、FSH30AU漸減投与（FGT区）で胚盤胞が5.2個、FSH30AU投与（SOV区）に発情誘起処理を加えると胚盤胞が8.4個採れ、OPU前にFSHを30AU投与することで胚盤胞数が増加する。



10AU区：FSH10AUを10mlの生理食塩水に溶解し、皮下に投与
 FGT区：FSH30AUを2AUあたり1mlの生理食塩水に溶解し漸減的に投与
 SOV区：上記FGT区に加え、CIDR除去、PG投与とGnRHで発情誘起処理を行う

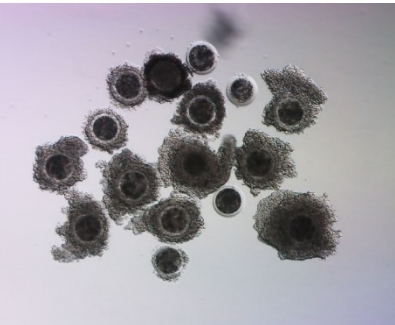
前処理方法



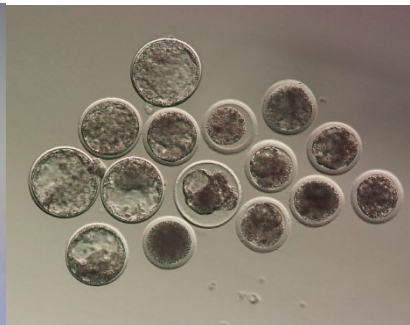
FSHを30AU投与することで胚盤胞数が増加する



OPUを行っているところ



採取した卵子



体外受精後の胚盤胞